

Starry Night Cruise Guide

洋上で出会う星空クルーズガイド

MITSUI OCEAN CRUISES

クルーズ船の上で
星空の原体験を

街の灯りが届かない海の上。

そこから見上げる夜空には、
かつて人々が見ていたような
満天の星が広がります。

クルーズ船だからこそ出会える、
一面にきらめく星空をご堪能ください。

星がみちびく航海

海図もGPSもなかった時代、船乗りたちは
夜空の星を頼りに大海原を渡りました。
なかでもこの3つは重要な目印です。
今も北の空で輝く「道しるべ」を探してみましょう。



北極星 変わらぬ航海の道しるべ

北極星は、北の空でほとんど動かない特別な星です。GPSのない時代、船乗りたちは北極星を基準に方角を確かめ、航海をしていました。さらに、その高さからおおよその緯度を知ることもできるため、北極星は航海に欠かせない重要な目印でした。

北斗七星 北極星探しの大きなヒント

おおぐま座のしっぽの部分にあたるのが北斗七星です。「ひしゃく」のような星の並びをしており、先端の2つの星を目印にすると、北極星を見つけることができます。今でも北極星を探すためのヒントとして親しまれています。

カシオペア座 北極星へのもう一つの手がかり

Wのような形のカシオペア座は、北極星を中心に見たときに北斗七星の反対側に位置しています。北斗七星の位置が低く見つけにくい季節は、カシオペア座を手がかりに北極星を探すことができます。

季節ごとに出会う星空

春は北斗七星、夏は天の川、秋はカシオペア座、冬はオリオン座。
洋上だからこそ出会える、季節ごとに表情を変える星空をお楽しみください。



春の星空（3〜5月）

見やすい時間 20:00〜22:00頃

北斗七星が北の空に高くのぼり、見つけやすい季節です。先端の2つの星を目印に、北極星も探してみましょう。

おすすめ航路

- 北海道
- 瀬戸内海



夏の星空（6〜8月）

見やすい時間 21:00〜23:00頃

夏の星々は、一年で最も華やかに夜空を彩ります。天の川が頭上を横切る光景に出会えることもあります。

おすすめ航路

- 北海道、東北
- 太平洋航路



秋の星空（9〜11月）

見やすい時間 20:00〜22:00頃

空気が澄み始め、星が美しく見える季節のひとつです。北東の空にはW字型のカシオペア座が輝きます。

おすすめ航路

- 北海道
- 日本海航路



冬の星空（12〜2月）

見やすい時間 19:00〜21:00頃

一等星が多く、四季の中でも特に豪華な星空です。オリオン座を中心に、冬の大三角と冬のダイヤモンドが夜空を彩ります。

おすすめ航路

- 沖縄、南西諸島
- 太平洋航路

参考：国立天文台

星空観賞に
おすすめのエリア



東アジア
韓国や台湾など

アジアの文化や風景を巡る東アジア航路。異国情緒を味わった夜は、星空を眺めながら旅の余韻に浸ってみては。

おすすめの時期

・10月～3月

瀬戸内海

人気の瀬戸内海エリアでは、美しい島々を巡りながら穏やかな航海を楽しめます。島影とともに輝く瀬戸内の星空も、旅の思い出に。

おすすめの時期

・10月～3月

北海道

北海道の大自然を巡る航海の夜。澄んだ空気に包まれた北の海では、降り注ぐような星々が夜空を彩ります。

おすすめの時期

・6月～9月
・1月～2月

奄美大島

豊かな自然に囲まれた奄美の海域は、星空観賞も魅力的な場所です。南国の穏やかな風を感じながら、心満たされるひとときを。

おすすめの時期

・7月～9月
・12月～2月

種子島

宇宙への憧れを抱かせる種子島エリア。昼は遥かな宇宙に思いを馳せ、夜は果てしない星空に包まれる、ロマンあふれる旅へ。

おすすめの時期

・7月～10月

沖縄

石垣島や宮古島、与那国島などの離島を訪ねる旅。海と空がひとつにつながる洋上で、満天の星々に包まれる贅沢な体験を。

おすすめの時期

・10月～2月
・6月～8月

太平洋
グアムやサイパンなど

陸地から遠く離れた外洋では、星々の輝きもひときわ鮮やかに。晴天率の高い乾季には南十字星や南国ならではの星に出会えることも。

おすすめの時期

・12月～5月

長寿を願う星「カノープス」

冬の南の空低くに輝くカノープスは、「長寿星」や「南極老人星」とも呼ばれ、見ると長生きできるという言い伝えが残る特別な星です。シリウスに次いで明るい恒星で、日本では南の地域ほど見つけやすく、沖縄周辺の海域では観賞のチャンスが広がります。水平線近くに一瞬姿を現す神秘的な輝きを、ぜひ探してみてください。

クルーズだからこそ体験できる
星空観賞の魅力



コスモプラネタリウム渋谷
チーフ解説員
永田 美絵さん

船から見る星空は地平線まで星が輝き、
デッキに出るとすべての方角で
星を見ることができます。
天の川が天を覆い、
南へ行けば南の星座が見えてきます。
海の上から刻々と移り行く星空を見る感動を
ぜひお楽しみください。

航海士に聞く星空鑑賞の魅力

人工の明かりが少ない洋上の星空は、特別な景色です。海と空を無数の星々が埋め尽くし、自然と宇宙の大きさを感じさせてくれる贅沢な瞬間だと思います。たまに人工衛星の光が静かに横切るのも、楽しめるポイントです。

船の上では陸の灯りが遠く、何億光年もの旅を続けて私たちのもとへ届いた星々の光が驚くほど近くに感じられます。特に小笠原諸島周辺の星々の輝きは、いつまでも胸の奥に残っています。

グアム航路で、南の空に輝く南十字星を見たときの感動は今でも忘れられません。洋上ならではの暗い夜空だからこそ出会えた特別な星空です。

冬の四国沖で、プロキオン・シリウス・ベテルギウスから成る「冬の大三角」や「冬のダイヤモンド」まではっきり見ることができた時は感動しました。



双眼鏡の貸出場所

双眼鏡の貸出は、デッキ7「MITSUI OCEAN スクエア」ゲストサービスにて行っております。ご希望の方は乗組員までお声がけください。三六スイートにご宿泊のお客様は、客室に1台備え付けております。船外へ持ち出すことはできませんので、船内で星空観賞をお楽しみください。

POINT

まずは眼幅を合わせます。双眼鏡を覗きながら、左右の視野が“ひとつの円”に重なるよう、中央の軸を動かして調整してください。星空を見るときは、まず肉眼で見たい星や星座を確認します。そのまま目線を離さず、目元に双眼鏡を持っていくのがポイントです。デッキチェアに頭を預けるなど、ブレにくい姿勢で見ると安定して観察できます。





観測におすすめの場所

デッキ11「サンライズ・デッキ」

最上階の前方に位置し、照明の影響が少ないため観測におすすめです。デッキチェアに寝転がって、視界いっぱいに広がる星空を眺めてみましょう。

※安全に配慮し、観測する際はデッキから身を乗り出さないよう十分に注意してください。
※目が暗闇に慣れるまでには約20～30分かかります。スマートフォンなどの明るい画面を見ることも避けましょう。
※夜風が冷たい時は、客室のブランケットや上着をご持参ください。

「星空を楽しめる宿認定」とは

2026年7月、三井オーシャンフジは日本旅行総合研究所の「星空を楽しめる宿認定」で最上位の三ツ星を取得しました。「施設・設備」「接客サービス」「周囲環境」の観点から審査を行い、星空観賞を楽しめる環境やサービスを備えた施設を認定するものです。海と空がひとつにつながる洋上の特等席で、満天の星々との出会いをお楽しみください。

星空を楽しめる宿
認定
★★★

クルーズ船のご紹介

MITSUI OCEAN FUJI



［SHIP DATA］ 総トン数／32,477トン　全長／198.15メートル　全幅／25.6メートル
客室数／229室　船客定員／458名

MITSUI OCEAN SAKURA



［SHIP DATA］ 総トン数／34,138トン　全長／198.15メートル　全幅／26メートル
客室数／229室　船客定員／458名

※「星空を楽しめる宿認定」を取得しているのは三井オーシャンフジのみです。（2026年10月時点）

商船三井クルーズ株式会社
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-8-1 虎ノ門ダイビルイースト6階
TEL〈固定電話から〉0120-791-211（通話料無料）〈携帯電話から〉03-4446-7532（通話料有料）
https://mitsuioceancruises.com